横芝広報
この広報は各家庭にもれなく配布します
発行所・千葉県山武郡横芝 横芝町役場（電話）32・249・339

改良に三十年かけた 水稲の品種〝おおとね〟

来春作付見込九〇ha

去る日、農業研究会の有志五七名が農林部の佐原試験地を視察して、水稲の品種改良に精魂を傾けること三〇年に亘る篠塚技師の作品で、千葉県の奨励品種「おおとね」のなりたちとその作柄の実際を見学した。この「おおとね」は「たかね錦」と「ホウネンワセ」の交配によったもので、特性その他は次のとおりである。

（形態的特性）
ホウネンワセに比べて稈長はやや短かく、稈の太い無芒種（のげなし）で葉の巾は広く葉色は濃い。穂数は少く穂長は長く、玄米の粒形は丸味をおび千粒単位の重さは重い。見かけの品質はホウネンワセより幾分劣るが農林二九号程度である。

（生態的特性）
ホウネンワセに比べて発芽性はやや劣るが育苗は容易で、植え傷みが少い。出穂期はやや早く、成熟期は同程度かいくぶんおそい。倒伏に強く葉いもち病の発生は同程度である。低温障害などでの不稔の発生はホウネンワセより少く食味はホウネンワセよりいくぶん劣るが、ギンマサリよりはまさる程度である。収量はホウネンワセより多い。

（栽培適地）
山間谷少田、低湿地帯のようにホウネンワセでは倒伏しやすいところ及び海岸砂地など地力の劣るところで、ホウネンワセでは穂数の確保がむずかしいところに適する。

（栽培上の注意事項）
ホウネンワセに比べて穂数が少いので植付株数は三、三㎡当り六〇株以上とし、さらに初期生育を促進させるために植付けを早めるような栽培法をとること。倒伏は少いので肥料はいくぶん多目にしても差支えないが、慣行施肥量を検討して多過ぎないよう留意が必要だといわれている。

わが国の米の生産量は飯米の絶体需要量を下廻っており不足している二〇%を外米に依存しているのが現状であるが、耕地面積が限界に達している現在、増産えのみちは他に求めなければならない。

すなわち、米作り日本一の北原、小池両氏の提唱する深耕と土壌の改良を図りながら品種を吟味し、病虫害の防除前でその配置式を行ない、ポつとめるべきであろう。

例年くり返している病虫害や倒伏によっての減収は、ある程度はのがれられない宿命だと観念してしまったとしたら問題である。この点おおとねはこれらの問題を解決してくれる品種といえるのではあるまいか？

日頃農業のありかたについて研鑽を重ねている横芝町農研が見のがすはずはなく、これをとりあげ、農協と町と連絡をとりながら大いに啓蒙につとめたが、その結果種もみの希望量は既に二、七〇〇kgに及んでいる。水田一〇aに必要な種もみを三kgとすると九〇haの植付けが可能となるが、横芝町の水田面積約一、一〇〇haの八、二%はおおとねが占めることになる。

四三年度産米の実績に期待するところは大きい。

そこで、品種の統一などによって増収したという次の実例がある。

集団栽培（後述）を提唱している西尾敏男氏（元愛知県の農業試験場長）は、指導してきた実績を次のように報告している。

集団栽培事業を二段階に分けて、その第一段階として品種の統一、薬剤散布、用水管理、施肥などを作業協定によって実施しただけで、八、四%の増収をみた。

第二段階の田植、耕起、整地、収穫、調整などを共同作業したことによって二六、九%増収したという。

ちなみに、国がとりあげた農業構造改善事業は、この集団栽培事業を基準として計画されたものである。

米女性が日本農業の勉強

木戸合の伊藤貴代司さん方に、アメリカ・コネチカット州のバーバラさんという二十一才の女性が、八月八日から月末まで泊り込みで日本農業の勉強をしていた。

なお、集団栽培を実施した五ツの部落二五七戸のアンケートをとりまとめた結果は次のとおりである。

一意見　もっと続けたい　九六%
やめたい　二%
白票　二%
二収量　増収した　六三%
減収した　九%
わからない　二五%

白票　三%
三肥料代多くかかった　九%
少くなった　六二%
わからない　二四%
白票　五%
四農業代多くかかった　五六%
少くなった　二六%
わからない　一六%
白票　二%
五労力　多くかかった　一五%
少くなった　六〇%
わからない　一九%
白票　六%

バーバラさんはそれまでに岩手県で約一ケ月勉強したが、これから大分県で同様研究するという。

伊藤さんの長男斉紀さんは去る四十年にアメリカ大陸で約一年間近代農業を実習研究して来られたので、彼我農業について核心に触れた意見の交換もなされた模様である。

それならば集団栽培事業の内容はどのようなものかというと、次のように説明している。

地区ごとに委員長、防除係、用水係、栽培係などが組織されており、その地区の中にいくつかの集団がある。各農家は大体自分の耕地が最も多くある地区に入って、その地区内だけで総耕地面積に応じた責任出役量を消化する。従って他の地区内にある自分の耕地については、そちらの担当者に一切やってもらわけで耕地の分散による能率の低下を防いでいる。労賃、薬剤費器具の借用費を含めた総経費を面積で割り、単位面積当りの費用を出し、精算書によって決算する。また、苗代から麦刈り、田植、耕起、代かき、稲刈り、脱こく、耕起、麦まきと、一連の作業を組ごとに行っている所においても、はっきり単価をきめて現金精算をしている、とのことである。

西尾氏が品種の統一を第一に掲げたゆえんは、作業協定や集団栽培の根幹をなすものとしているからである。

横芝町の農家が、競っておおとねに集中したということは図らずも品種の統一に一歩をふみ入れたことにもなり、とかく低迷をうんぬんされている農産業に新風を送った感がある。

横芝町の農業の、将来は明るいといえる。

学校生徒児童数（昭和42.9.1現在）

	男	女	計
横芝中学校	375	411	786
横芝小学校	358	357	715
上堺小学校	136	146	282
大総小学校	128	142	270
合計	997	1,056	2,053

新鋭消防ポンプ車 上堺本部に配備さる

横芝町消防本部分団第一部（元上堺本部）に配属されていた消防自動車は、古くなって故障も多く有時の際の出動に不安が感ぜられるため、今回新鋭のFG六〇型ポンプ車を購入して配置することになり、去る八月十一日役場庁舎式後八田の琴平神社で安全の祈禱を受け、次で立合の漁港地先で放水試験を行ったが、さすがに新鋭機だけにその成績はみごとで、有時の際は大きな威力を発揮するものと地元の人々に与えた安心感は大きかった。

写真は消防自動車ポンプ目録を町長から消防団長に伝達するところ。

総合開発審議会委員変わる 有線放送運営委員も

町議会議員の改選等に伴なう総合開発審議会並びに、有線放送運営の両委員は次のとおり変わりました。

総合開発審議会委員
（退職）
伊東　巌　伊東　重雄
岩沢　英一　河井　昇
早川　公平　水野忠一郎
伊藤　たま　土屋　しな
（新任）

有線放送運営委員
（退職）
平山　清　八角喜久夫
池内　祐蔵
以上
（新任）

銃の所持許可の更新 十月十五日までに

猟銃、空気銃の所持許可証を持っている方は承知のことと思いますが、昭和三十年から同三十一年までに許可を受けた方は、来る十月三十一日で有効期限が切れますので、十月一日から同月十五日までの間に、銃砲刀剣類所持等取締法に定められた更新の手続をとらねばなりません。もしこの手続をしないと不法所持の取扱いを受けますから左の方法で手続きをして下さい。

一、更新申請書　二通
二、写真（ライカ版）二葉
三、医師の診断書（精神病、麻薬、大麻中毒の有無）
四、同居の親族名簿
五、狩猟者講習修了証明書又は猟銃等講習課程修了証明書（昭和四十一年六月以降のものに限る）

【写真説明】

いづれを表、裏の区別のつかない旧横芝町役場の玄関

○元の町村○ 横芝町 巻二

此の地は、常陸の人行方治右衛門という人が始めて入殖し、次第に移住者が増加して遂に三十六戸に及ぶ一部落を造った。当時は附近一帯は柴地に覆われていたのを開拓したところから、横芝の名が出たものであるという。

徳川時代には、旗本領であったというが、明治維新の頃（ちけんし）柴山文平の属領、松尾藩（或いは松尾県）に属する等の変遷があったが、明治四年には木更津県に属し、更に六年には千葉県の所管となって、九大区十小区の扱所が置かれている。（因みに当時の大総村は九大区三小区であった。）十一年から十二年にかけて、この区制度が廃されて戸長役場が設けられた。

明治二十二年の町村制施行に際し、現在の横芝（俗称上新田、栗山、鳥喰上、鳥喰下、鳥喰新田の七村が合して旭村と称して山辺武射郡役所の所在

尾を引く遊びぐせ

夏休後の不良化防止策

楽しかった夏休みも終り二学期を迎えましたが、長い開放的な休み中に根強い遊びぐせがついてしまいがちです。

非行や不良行為少年の補導数は休みあけの九月が、歳末とならんで特に多いのが毎年の傾向です。これは夏休み中に身についた悪いくせが休み後も尾を引いていることを示すものです。

非行や不良化のコースをたどる少年はよく観察してみると、態度や言葉使い、持ちものなどで今までと違った変化が必らずあるものですから、保護者は次のような点によく注意して、できるだけ早く非行の芽をつみとるように努めることが必要です。

1、夜間の外出、何とか口実を設けて外出する機会が多くなりますが、特に夜間の外出はできるだけ理由をはっきりさせるとともに、一定した帰宅時間を励行させます。

2、友だち関係、夏休み中はいろいろな機会から学校以外の者とつき合うことが多くなります。相手が悪い友だちの場合は、その影響がきわめて大きいので、どんな友だちと交際しているかについてときどき話しあい正しい指導や助言をします。

3、反抗的な態度と服装への強い関心、不良じみてくると保護者の注意にふてくされたり反抗的態度をとったり、また服装や身のまわりなど気にするようになります。こうしたきざしが見えたら不良グループまたは異性との交遊があるものとみて、早く対策を講じます。

4、金使い、買い食いや遊びが激しくなるとムダ使いがふえて小使銭に不自由してきます。家から金品を持ちだすようになり犯罪へ転落する危険な状態となるので親が与える小使銭の額とこどもの遊びとにバランスが欠けていないかどうか、注意しなければなりません。

5、電話や手紙に対する敏感さ保護者に話せない友だちと交際が始まると手紙や電話に敏感になってきます。このため落つきがなくなり時には放心状態になったりします。それとなく手紙や電話の相手について尋ね適宜指導する必要があります。

このほかまだ配慮しなければならない点がありますが、指導の上で困ることがあれば学校の先生に連絡をとり相談するのも一方法で、問題解決の糸口をつかむ早道かもしれません。

剣道、庭球に優勝

山武郡市民体育大会

第十八回山武郡市民体育大会は去る八月六日、九十九里町で郡内十市町村の選手が参加して盛大に開催されたが、横芝町からも百余名が参加し剣道、庭球では優勝の栄冠を獲得して大いに気を吐いた。

球技は殆んどの種目で上位を占めたが、陸上競技では大多数の選手が球技など団体競技に引張られた関係で、高校現役及び小数の極めて優秀な選手の活躍は見られたものの、総合得点に不利となり結局総合成績では六位にとどまってしまった。

成績は次のとおり

優勝　剣道
優勝　男子庭球
準優勝　女子庭球
総合順位　女子バレー　六位

郡内小学校水泳教室

横小プールで開催

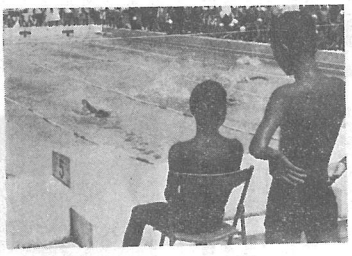
第三回山武郡小学校水泳教室が去る八月二十三日に横芝小学校プールで開かれ、参加校は郡内十一校、選手二二〇名によって午前九時から記録会、午後一時から実技講習が行はれた。

横芝町内小学校は三校とも参加し、なかでも上堺小学校は水泳プールがないにもかかわらず、選手一名が参加してしかも五〇米自由型で堂々一位を獲得した。

大総小学校のプールはこの夏完成したばかりで横芝小学校でも二年目であるが子供達の泳ぎの上達ぶりには並みいる関係者も驚ろきの目を見張っていた。

なかには競泳の途中で力尽き悠然と一と休みして観客を失笑させ、係員をあわてさせる子もいた。

午後からの講習会では全員元気一杯目を輝かせながら蛙礎泳法を熱心に学んでいた。



……力泳する小カツパ達……

みんなそろって

結核検診を受けましょう

横芝町では九月二十二日から結核の健康診断を実施します。この健康診断は結核予防法の規定するところによって、住民は毎年一回必らず受けなければならないことになっています。

健康な生活を送るため全員検診を受けましょう。

検診実施予定日と場所は下のとおりです。

昭和四十二年度結核住民検診実施計画表

月日（曜）	時間	実施場所	実施地区
9・22（金）	前19時～11時半	中台四ツ角 遠山万福寺	中台、桜前 遠山、姥山
9・23（土）	前19・・～11・・半	牛熊消防庫前 長倉長勝寺	牛熊、谷台 長倉
9・25（月）	前19・・～11・・半	大総公民館 坂田熊野神社	町原、木戸台、小堤、取立寺方、坂田
9・26（火）	前19・・～11・・半	於幾青年館 大師堂	曾根台、於幾 上町全
9・27（水）	前19・・～11・・半	石橋生糸広場 古川住宅広場	本町、全 古川、両国新田
9・28（木）	前19・・～11・・半	旧飯島澱粉 栗山集会所	栗四、四ノ二、東ケ丘、青芝会、伸和会、栗一、二、三、東部、宮脇、南部
9・29（金）	前19・・～11・・半	鳥喰沼集会所 鳥新成就寺	鳥喰沼 鳥喰新田、上
9・30（土）	前19・・～11・・半	鳥喰下越川商店 清水西青年館	鳥喰下 西、関場
10・1（日）	前19・・～11・・半	東町児童館 農協本所	東町一、二、四 東町三
10・2（月）	前19・・～11・・半	新青伊藤商店前 上堺農協	新青、東 新島、新田、本郷、荒場、三島
10・3（火）	前19・・～11・・半	上堺公民館 屋形四社神社	三軒家、道貫、入間、宮前 屋形荒場、三本松
10・4（水）	前19・・～11・・半	南川岸青年館 漁協冷蔵庫前	南川岸 立会
10・5（木）	前9・～后2・	横芝町役場	金地区未検診者

附記　1、当日都合のわるい方はどの場所でも受けられます。
2、この検診を受けなかった方は松尾保健所へ行っていただくことになります。

佳話三題

県警本部長から賞状

お手柄の中村さん

東町の鮮魚商魚芳の中村和雄さんは交通事故犯逮捕で警察に協力した功労で、去る七月十日県警本部長から賞状が贈られた。

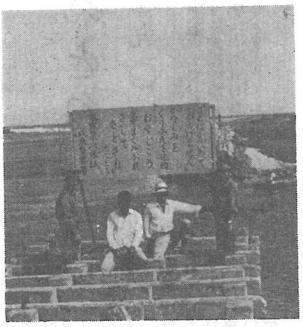
事件は同月一日夜、横芝町の新国道と旧国道の交叉点（旧警察跡）附近で、猛スピードで本町方面に向うライトバンが、反対方向から来た銚子市の山下某のオートバイと衝突し、負傷した山下某をそのままにして新国道を光町方向に逃走した。たまたま現場を通りかかった中村さんは、直ちに被害者を道路わきに救護し、自分の車で当て逃げのライトバンを追跡、現場から約七百米離れた地点で加害者工員遠藤某をつかまえ警察に引渡し、更にまた負傷者の山下さんを東陽病院に運んで手当を受けさせたとのことである。

水難防止のたて札

遠藤武雄さんが寄附

昨年夏、屋形海岸で悲しい水難事故のぎせいとなった故遠藤一夫君（当時十四才中学生）のお父さん遠藤武雄さんから「この悲しみを繰返さないように」と、危険防止の立看板を寄付して来たので、町では交通安全協会、同対策協議会、警察等と話合って水難事故のあった海岸近くにこの看板を立てて、一般の注意を呼びかけた。そのためもあって今年の夏は横芝町での水難事故は皆無であった。

遠藤一夫君の霊よ、安らかにねむれ。合掌。



写真は遠藤さんが寄附した立看板
かなしみをくりかえさせぬおやごころ
うずまくながれさしてさとさむ

交通安全へ二万円

中崎さんの遺志

五月十日午後十二時ごろ、自動車事故による家屋損壊被害があったが、その被害主の中崎種松さん（六八才）は事故のショックで失神状態に陥いり、翌日遂に死去された。

御遺族は悲しみのうちに葬送を済ませたが、種松さんが生前から交通事故の防止については少なからず気を遣っておられたことを思い併せて、故人の御遺志として「交通安全のために使って下さい」と二万円を町に寄付された。町ではこの篤志を早速交通安全対策協議会に伝達し、折から設備中のカーブミラーなどの費用に充てることになった。

広報写真コンクール

千葉県のすがた

〝青年の県〟として発展の一途をたどっている千葉県では、今や各方面から注目されているが、その反面古くから残されている自然、文化、産業、行事、風俗など見すてることのできないものも数多くあります。

県ではこれらの古いすがたと新しい躍動の両面をもつ今日の千葉県を表現した写真を広く募集しています。

▼内容は〝千葉のすがた〟で今日も生きている古いすがた、躍動する新しいすがたその両面を持つすがたを主題にしたもの

▼規格は、白黒は四ツ切、カラーはキャビネ以上

▼締切は九月三十日

▼送り先は県企画部県民課内広報写真コンクール係

▼発表は十月中旬

▼賞は特選賞金二万円と賞状以下三十七賞

▼応募規定は未発表のもので枚数に制限がありません。使用材料は特定のものを使うことになっていますのでお問合せ下さい。

同好の士は奮って応募されるようおすすめします。なお詳細については県又は町役場の係りあてお問合せ下さい。

有線番号の新設と廃止のおしらせ

有線放送電話の新規加入者と廃止がありましたので、その番号をおしらせいたします。お手元の番号簿の加除訂正をお願いします。

	部落名	加入者名	番号
新設	寺本	保夫	21 — 1
	古町	男秋	52 — 17
	東町	店正	49 — 17
	東町	江信	59 — 15
	栗仲	士雄	62 — 17
	鳥	真計勝清油	67 — 13
	方1	富重常	81 — 2
	川1	八芝鈴石早大錦石押	85 — 17
	2	角崎木毛川沢織橋尾	89 — 16
	3		
	部会下		
	南		
	和		
	喰		

	部落名	元加入者名	番号
廃止（空番）	上町1	鈴木守	45 — 8
	上町4	長野清洲郎	43 — 10
	仲町会	勝又豊	85 — 8
	三和	浅野洸	110 — 11
	南本	海保久	112 — 10
	川		